



兼好塚付近から国見山と国見の里を見る



草蒿寺跡にたてられた兼好塚記念碑



服部土芳の句碑

ぶんと通信

第73号

2010年12月15日発行
伊賀市文化都市協会

「種生国見の里、兼好伝説と天正の乱悲哀」

「つれづれなるままに、日暮らし硯にむかひて、心にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ」は、有名な吉田兼好の『徒然草』の序段です。兼好は、晩年種生国見の里で過ごし、観応時代の初め、六十八歳で逝去、草蒿寺の裏に葬られたと伝えられています。種生の人たちは、兼好が閑静なこの里で思索し、筆を運び、隠棲の日々を過ごしたことを深く信じ、兼好塚の永久保存に努めています。

草蒿寺は、兼好が来住した以前から存在していた七堂伽藍の大きなお寺でした。兼好が草蒿寺のことを知り、訪ね来て、国見の里の良さを感じ、何を想いめぐらしながら暮らしたのだろうかと想像が広がります。

天正九年、織田信長が大軍を率いて「一木一草、一兵一夫も残すな」の怒号の下、神社、仏閣、民家を焼き払い、老若男女の区別なく殺戮した「天正伊賀の乱」という壮絶な戦いがありました。草蒿寺もまた、「天正伊賀の乱」の兵火によって灰燼に帰し、その後再建されましたが、安政の震災に遭い倒壊したと記録に残されています。元禄年間には、俳聖松尾芭蕉の高弟の服部土芳がこの地を訪ねて、仲秋の月見をしています。「月添ひてかなしきこぼる萩すすき」の句を残し、句碑も見られます。

兼好塚と草蒿寺跡を見降ろしているのが、標高五百メートルの国見山です。国見山へは、民家の間の細道を通って山林の中の小道を登り、木製の鳥居をくぐると間もなく頂上にたどり着きます。そこには、天正の戦いで、種生国見を必死に守り、そして散っていった兵士を祀る小さな祠があります。祠の周囲には、笹や草に隠されながら、今も土塁の高まりと濠の跡が確認できます。

種生国見の里は、兼好の歴史伝説と天正伊賀の乱の悲哀をひっそりと伝えているかのようです。
(広報事業委員 西岡時彦)

BUNTO チケット情報

伊勢正三・太田裕美・大野真澄
アコースティックナイト in 伊賀

12/18土

開場18:00 開演18:30
一般4,500円(全席指定)

伊賀市文化会館

第21回
青山推薦コンサート

1/23日

開場13:00 開演13:30
一般1,000円(全席自由)

青山ホール

錦織 健
テノール・リサイタル

1/28金

開場18:30
開演19:00一般 3,000円
(当日500円増)
(全席指定)

伊賀市文化会館

伊賀びと奏でコンサート
スペラールコンサート
～愛をあなたに～

1/30日

開場13:30
開演14:00一般 1,000円
(全席自由)

あやま文化センター

あやま文化センター
ワンコインコンサート Vol.3
SHEENAコンサート
～アイルランドからのバレンタイン～

2/11金

開場13:30 開演14:00
一般500円(全席自由)

あやま文化センター

第11回能楽鑑賞会

3/6日

開場13:00 開演13:30
一般 1,000円
高校生以下 500円
(全席自由)

ふるさと会館いが

宝くじおしゃべり音楽館
～想い出のスクリーンミュージック～

3/12土

開場18:00 開演18:30
一般 2,500円
高校生以下 1,500円
(全席指定)

伊賀市文化会館

谷村新司
トーク&ライブキャラバン
ココロの学校

3/27日

開場17:00 開演17:30
一般 6,000円
(当日500円増)
(全席指定)

伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館
青山ホールTEL.0595(24)7015
TEL.0595(52)1109ふるさと会館いが
あやま文化センターTEL.0595(45)9125
TEL.0595(43)1125

先取りインタビュー

テノール 錦織 健さん

来年、1月28日(金)に開催される「錦織健 テノール・リサイタル」テレビ・CMでもおなじみの人気テノール、待望の伊賀公演です。公演に先立って、お話を伺うことができました。

錦織 健(にしきおり けん) テノール。国立音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第5期修了。文化庁在外研修員としてミラノに、また、五島記念文化財団の留学生としてウィーンに留学。第17回ジロー・オペラ賞新人賞、第4回グローバル東敦子賞、第1回五島記念文化賞新人賞、第6回モービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。

全国での公演はもちろん、オペラのプロデュースを手がけるほか、テレビやラジオ、CMでも活躍されています。

Q.音楽へのこだわり・魅力をお聞かせ下さい

A.何といってもマイクを使わないで美しく、力強く歌うことです。音楽の特性は全てそこからスタートしていると言っても過言ではありません。もちろんマイクの発明以前からの技術ですから必要に迫られて発達した側面もあるでしょう。しかし結果的にテクノロジーの世話にならないということで、職人や舞踊家のような肉体を駆使する事でしか表現できない貴重な伝統技術になったわけです。私がTVでポップスなどを歌う時にマイクを持っている姿を見かける事もあるかとは思いますが、あれは放送自体が電波なので致し方ありませんね。生のコンサートではマイクを使わないのがクラシック。曲がクラシックでもマイクで歌うのは「クロスオーバー」という別の分野なのです。音楽とは己の肉体と精神を極限まで磨くことにより会得する技、すなわち「忍術」と同じ…と言ったら言い過ぎでしょうか？

Q.音楽家へのきっかけとかをお聞かせ下さい

A. …といろいろなカッコイイ事を言いましたが実は私はバンドのボーカル出身、クイーンのフレディ・マーキュリーに憧れるロック少年でした。しかし同時にコーラスも大好きで高校時代などはコンクールの練習に明け暮れもしました。

フレディとコーラス、このあたりが私が音楽やオペラを志すきっかけと言えます。伊賀のコンサートでもオペラと共にロックも歌ったりするのは、まさに私のキャリアが物語っているわけです。おっと…今回はたとえロックでもマイクは使いませんよ！

Q.公演をとっても楽しみにしています。伊賀の皆さんに今回の聞きどころなどお聞かせ下さい

A.私の「売り」はロック・トゥー・バロック！一夜のコンサートでバロックからロックまでを歌うのです。そのうえ皆さんがよくご存知の日本の歌も加わるので、我ながらデタラメに広いレパートリーになってしまいましたが…。さらに多彩な才能を持つハーピストの朝川朋之さんによるシンプルでダイナミックなサポートで、正真正銘ナマの音をお楽しみ下さい。「影丸」の頃から大好きだった古の里、世界中の少年の憧れの地である伊賀で歌えることを大いに楽しみにしている次第です。

(広報事業委員 下猶茂樹)



先取りインタビュー

スペラール

来年1月30日(日)、あやま文化センターにて「スペラールコンサート」が開催されます。そこで、「スペラール」の富治林さんにお話を伺いました。

Q.「スペラール」について教えてください。

A.大阪音楽大学を卒業した頃、伊賀に帰ってから何かしたいと考えていたところ、同じ大学の同窓生が4人集まってグループを結成しようということになり、ピアノの橋本さんを誘って5人でスペラールを結成しました。1987年7月だったと思います。その年の12月に第1回のチャリティーコンサートを開催し、収益金は「かしのみ園」に寄付をしました。チャリティーコンサートは6回行い、それ以外は、市内の保育所や小学校で演奏していました。1995年に各自それぞれがもっと勉強したいということで休止ということになりました。

Q.ソプラノ、メゾソプラノ、ピアノ、ナビゲーターとありますが、ナビゲーターとはどういうものですか。

A. 私たち「スペラール」の特徴といえますが、歌2名、ピアノ2名で、デュエット・連弾などいろいろな形で演奏をすることが出来ます。そしてナビゲーターは単なる司会者ではなく、楽曲を分析し、背景にあるものなど解説をしていきます。これにより、初めて聴く方にも曲をよく理解して頂けます。ぜひ、体験していただきたいです。

Q.今回は、どのような構成になりますか。

A.テーマは「いろいろな愛」ですね。1ステージは、クラシックスタイルで聞かせる場と考えています。2・3ステージでは、聴衆の皆さんと音楽を通して一緒に過ごしていただく憩いの場として、楽しんでいただけたと思います。

Q.最後にコンサートに向けて意気込みなどありましたらお

願います。

A.他のメンバーにもインタビューしました。

反響板をみんなで作り、わいわい話し合いながら企画した手作りコンサート、訪問先の老人ホームで「エリゼのために」とリクエストをもらって弾いた時にとても喜んで下さったこと…が印象に残っています。スペラールは大学を卒業して伊賀に帰り最初のコンサートの場でした。お客様と温かい時間を作れるよう、しっかり準備して臨みたいと思っています。(橋本宏美)

一つひとつの音を大切に演奏したいです。(辻浩子)久しぶりのコンサートです。皆さんに楽しんで頂けるように、平常心で臨みます。(吉村真智子)

独身時代からの仲間との久しぶりのアンサンブルに喜びと懐かしさを感じています。少し(?)大人になったスペラールをご賞味ください。(豊田郁子)

今回このような機会に恵まれ再結成できたこと、また自分が勉強してきたことを生かせる場が復活してきたことを実感しましたし、プレッシャーと戦いながら本番を向かえるのかなと思っています。今回聴いて下さった方が少しでも忙しい日常を忘れ、楽しい幸せな気持ちになってもらえれば嬉しいなと思います。(富治林直美)

(広報事業委員 奥真也)





一筆啓上 ふるさとへ

「貝が結ぶ絆」

小坂 恵敬

日本から6時間ほど飛行機で南へ下ると赤道のそばにパプアニューギニアという国がある。実はここに私の親戚がいる。ただ、私の父は生粋の伊賀人で、母は県外の人だが元を辿れば伊賀に遡る。また知る限り私の祖先がパプアニューギニア人と子供を持った事は一度もない。ではどうして血を共有しない彼らが私の親戚なのか。

私のご縁あって、現在いるオーストラリアの大学からパプアニューギニアのラバウルに行き、そこに住む人々の暮らしや考え方について調査・研究してきた。現地滞在中、私はある一族と仲良くなったが、その一族の長が私を彼らの親戚にするといい出した。彼らにとって「外国人」の私を友達以上に繋がり深い人、親戚にと言うのだ。当時彼の地で「外国人」が現地の一族に迎え入れられたという話は聞いたことがなかったから、有難い話として私は申し出を受ける事にした。



貝の「お金」(タブ)を掲げる少年

しかし彼らにとって親戚は同じ血を共有する者を意味する。私とラバウルに住む一族が今更血を共有することは出来ない。この矛盾を超えて私達が親戚になる儀礼の為に、彼らが今も使う貝のお金が必要とされる。

ある日私は一族の儀礼に呼び出された。その場で一族の長が私に貝のお金を渡し、私を一族の一員にすると言った。これに続いて他の一族の者達がそれぞれ私のところにやってきて私に貝のお金を渡していった。

彼らは貝のお金を使い食料等を手に入れるが、儀礼で使われる貝のお金は「血」の代わりとなる。彼らがよそ者を一族に受け入れる場合、血の代わりに自分達の身体を象徴するとされる貝のお金を相手に渡す。これによりよそ者は一族の「身体」(貝のお金)を持つ者となる。先の儀礼で彼らから貝のお金をもらった私は、正式にパプアニューギニアのある一族と親戚になったのである。

そういう訳で、伊賀に住む私の親戚の方々、皆様は知らぬ間に私を通じてパプアニューギニアの人々と関係が出来ていたのであります。今後とも宜しくお願い致します。

小坂恵敬(こさか よしのり) オーストラリア在住
現在、オーストラリア国立大学大学院所属。
文化人類学を専門とする。



夢ing

『一生続けたい物作り』

たかし
陶芸家 谷本 貴

私は、大学、高等技術陶工専門学校へ進学した後、森正氏に一年程弟子入りし、伊賀市三田の実家で陶芸活動を始めて7年になります。

祖父、父、母も陶芸家であり、仕事場も共同で使わせてもらえるという環境の良さ(悪さ?)に甘んじないように努力しています。また、祖父、父、母の作品の影響をうけすぎないように、



誰の作品にも似ていない、オリジナリティーを持った物を作ろうと試行錯誤の日々です。

弟子入り生活を終えたあと、一年程イタリアに行っておりまして。一番の収穫は、これはよく言われることですが、「外から日本を見て、よりその文化のおもしろさに気付いた」ことです。

石畳に囲まれた重厚な街並みの欧州文化に感嘆しつつも、「間」を大事にした日本の木造建築や、庭園、芸術も洗練されてるなと改めて思わされました。

さらに日本には優れた工芸文化があり、自分の生まれ育った伊賀に、伊賀焼という素晴らしい歴史があることに誇りを持ちました。グローバルな時代、世界に発信できる武器となるのが、たとえばこの伊賀焼のような伝統的なものだと思います。

これからも不断の努力で自分だけの表現を目指し、それが日本の焼き物、文化、ひいては地元の伊賀に貢献できたらなと思っています。

1月8日(土)より開催の上野歴史民俗資料館特別企画
「三重の若手陶芸作家展」にも出展します。

伊賀のええもん見つけた



私達の芭蕉さんを偲ぶ「俳聖殿」が重要文化財に指定された。10月15日に国の文化審議会が文部科学大臣に答申した重要文化財7件のうち、伊賀市の俳聖殿が選ばれ、暗い話題が多いこの頃、久しぶりに伊賀市民は喜んだ。そもそもこの俳聖殿は、芭蕉生誕300年に当たる昭和17年に地元政治家川崎克氏が建設し、同氏が創設した伊賀文化産業協会が管理してきたが、平成16年に市に

重要文化財「俳聖殿」

寄付された。この間市民の寄付などをもとに屋根の桧皮葺き替え等を行い、同じ上野公園内にあるお城と共に伊賀市民にとってかけがえのない文化遺産となっている。

建設にあたっては平安神宮や明治神宮の設計で著名な伊東忠太博士指導のもと、地元棟梁の森本源吉氏が施工を行った。記念建築にありがちな伝統的社寺風の意匠ではなく、数奇屋風のくだけた外観は森本棟梁が京都で学んだ茶室文化の反映かもしれない。下層部は法隆寺の夢殿を参考にしたというが、夢殿の瓦葺きに比べ桧皮葺きの屋根はたおやかで、上層部の円形も相まってまさに芭蕉さんの旅姿そのものだ。今回の指定も伝統的木造建築の気品と共にあるこの個性的な外観が評価されたのだろう。

軍部の支配が濃厚だった時期に「俳聖殿」を建てた川崎氏の心意気と勇氣は、ともすれば文化を軽んじ合理性や経済優先になりがちな現代の私達が見習わなければならない。

(広報事業委員 森 正美)

こだわり人生乾杯

「花は人のかけはし」

園芸研究家 奥 隆 善

初めて花を栽培したのは小学1年生でのアサガオ栽培でした。以来ヘチマ、ジャガイモと学校の授業での体験が続いた後、5年生の時に祖父にもらった葉ボタンのたねを播いたのが学校以外で初めて栽培に取り組んだ植物でした。以後20年以上にわたり、33歳になった今でも葉ボタンの栽培に取り組んでいます。葉ボタンの栽培を通じて植物を育てるイロハを学んだように思います。何も分からない5年生の私は栽培方法を一番身近な先生であった祖父に聞き、祖父の愛読書であったNHKテキスト「趣味の園芸」を読んで勉強しました。中学の時に祖父が亡くなり、祖父の栽培していた植物が残されたのですが、残してくれた資料を読みながら栽培を試行錯誤しているうちに栽培方法だけでなく祖父の考え方までも理解できた気がします。

また、中学、高校、大学と進学するうちに

植物を通じて多くの方々に指導していただき、徐々に今の自分が作られてきました。人を思い浮かべると、同時に間を取り持ってくれた植物まで思い浮かべてしまうといった具合です。

子どもの頃は見たり読んだりする側だったNHK「趣味の園芸」も最近では出演する側になり、かつての自分のようにこれを見て植物栽培を志す子ども達が育ってくれたらいいなと思うこの頃です。



楽しいなにか? 便利なのなにか?
嬉しいなにか? ここから生まれるよ
ぶんと「伊賀のたまご」

着任ご挨拶

三重大学伊賀研究拠点所長 江原 宏



10月1日付けで三重大学伊賀研究拠点所長として着任しました。大学では生物資源学部・大学院生物資源学研究科の教授を務めており、専門は植物の栽培生理学です。気候変動や地球温暖化が作物に及ぼす影響の解明、塩害や酸性土壌に強い植物の探索と資源化、少肥栽培技術の開発などに取り組んでいます。サゴヤシという幹に多量の澱粉を蓄積するヤシの系統分類や生理生態的特性に関する研究では、東南アジア・ポリネシア・メラネシア・ミクロネシアで調査を行っています。大学全体の仕事としては国際交流担当の学長補佐として、国際インターンシップ事業や若手研究者養成に向けた人材育成などに携わってきました。

伊賀研究拠点は、産官学と地域との連携によって、伊賀市、名張市ならびに三重県等と連携して、「環境・食・文化」に関する調査、新商品開発研究などを軸とした新産業育成を図るとともに、文化的啓発活動を通して地域活性化に貢献することを目的としています。現在、拠点内のインキュベーションには5社の企業に入居いただっており、起業間もない事業の育成を支援しています。また、地域との事業の展開としては、バイオマスエネルギー開発研究、環境健康学研究、食用植物研究、獣害対策研究、管内の学校を対象とした出前授業、職場体験、総合学習、科学体験教室、さらには途上国への技術指導にも取り組んでいます。



「師走に思う」

北泉 優子



多情

多感

No.33

早いもので、今年もまた、年賀状を書く季節がきた。年をとると月日の経つのが、わけもなく早い。ついこの間まで猛暑にあえいでいたのに、短い秋が逝って、もうこたつのお世話になっている。今年一年、考えてみると唯元気に生きただけで、何もしなかった。でも、もう充分の余生なんだから、健康で、人様に迷惑をかけなければ、それでいい。正直そう願って、毎日をすごしてきた。

さて、年賀状といえば、わたしは印刷したものに書き添えてひとこまとメッセージを加えることにしている。その相手を思い出しながら、ひと筆記すのだが、定番は、まず御元氣ですか?である。伊賀で、年に一度でも逢う人なら別だが、東京時代の知友で、同年代ともなると、まずこの言葉が先に立つ。まさか天国へ旅立っていないだろうなと内心ビクビクもので、お正月に無事の年賀をいただくと、ほっとする。こんなよけいな心配を、

おたがいしなければならぬほどの年齢になってしまったのだ。

70才を過ぎれば、いつ何があってもいいように人生の終り支度をしなければいけないと誰かに若い頃教えられた。その教えは憶えているが、現実、何ひとつ死への準備らしいものをしていない。もし仮りに、明日突然事故か何かで逝ったら、ひとり暮らしの気ままな生活だから、残された者は、どこに何があるのか、誰に連絡すればいいのか困惑してしまうだろう。第一あまりに雑多で手のつけようがないとあきれ返るかもしれない。

若い時代は、今日出来ることは今日中にやれがモットーだが、この年になると、今日出来ることの半分は明日に残しておくがいい。そうすれば、翌日の起床も気持ちいいし、やることがある分生き甲斐になる。もう年だから、早くお迎えが来てほしいとか、うしろ向きに考えず、年だからこそ、しっかり前をむき、まだまだ夢を持つて生きてゆきたい。

夢は現実的なほうがいい。孫の結婚式に出たいとか、愛犬が死ぬまで生きてやりたいとか、そんな日常ごとでいいのだ。

わたしも東京の86才になる元プロデューサーに言われた。

「優子さん、あと十年かけて長編を書きなさい。一日一枚書けばいいんだから、しんどくないでしょう」

一日一枚か。それなら書けるし、書きたいものはまだいっぱいある。スタミナが心配で長編を諦めていたわたしは、元氣をもらって、来年から、この夢を追いかけることにした。来年も頑張ろう。

年賀状を書きながら心に期していた。

(作家・市内在住)

谷村新司さんと共演 少年少女合唱団 参加者募集

3月27日(日)に伊賀市文化会館で「谷村新司トーク&ライブ キャラバン ココロの学校」公演を実施します。谷村さんが「ココロの校長先生」となって、音を肌で感じるライブと、ココロに響く温かいトークを繰り広げます。公演の中で谷村新司さんが地元伊賀の少年少女合唱団と共演をします。ぜひご参加ください。

【公演日】 3月27日(日) 17:30開演 ※当日14時集合
【練習日時】 ①1月16日(日) ②2月6日(日) ③2月27日(日)
④3月24日(木) ⑤3月26日(土)
①②③⑤14:00~16:30 ④18:00~20:30
【練習場所】 伊賀市文化会館館内 リハーサル室など
【対象者】 小学1年生~中学3年生 歌が大好きでやる気があり、練習に参加できる人
【定員】 30名(先着順)
【内容】 「サライ」「咲きはこる花のように」「気球ののってどこまでも」
【指導】 <声楽家>藤原 靖子 <ピアノ>井ノ倉純子
【参加料】 無料
※プログラムの構成上、ホール内で着席して鑑賞していただくことは難しいため、参加本人に限りチケットは不要です。保護者・関係者の方でホールに入場される方はチケットをお買い求めください。
【申込受付】 12月19日(日)午後3時より ☎22-0511にて受付

三重県指定有形文化財 入交家住宅特別企画



第3弾! 武家屋敷de たっぷり楽しむ お正月!



【日 時】 1月8日(土) 13:00~16:00(予定)
【場 所】 武家屋敷 入交家住宅
【参加料】 一般300円、中学生以下200円
【対象者】 制限なし(小学校3年生以下は保護者同伴)
【定員】 40名 ※先着順・定員になり次第締切
【申込受付】 12月23日(木・祝) 午前9時より ☎22-0511にて受付
※1回のお電話につき1家族または4名までの申込とさせていただきます

上野歴史民俗資料館 特別企画 「三重の若手陶芸作家展」 —それぞれの壺—

陶芸家として活躍する若手のそれぞれの感性が「壺」をとおして、どのようにカタチになるかぜひご覧ください。

【開催期間】 1月8日(土)~4月10日(日)
【場 所】 上野歴史民俗資料館 2階展示室
(伊賀市上野丸之内116-2 ☎21-6666)
【開館時間】 9:00~16:30(期間中の休館日はありません)
※企画展の最終日は午後3時まで
【出展作家名】 林 伸也、高山 大、新 学、畑中 伊紀、谷本 貴、
安永 正臣
【入館料】 大人200円、高・大学生150円、小・中学生100円

栄楽館 特別企画 柿渋染めランチョンマット& 消しゴムはんこ作りに挑戦



地球環境と人にやさしい自然の塗料「柿渋」を使って、筆などでデザインしたオリジナルランチョンマットを作ります。また、消しゴムを彫刻刀などで削って、オリジナルはんこ作りに挑戦します。自分だけのオリジナル作品を、ご家族やお友達と一緒に楽しく作ってみましょう!

【日 時】 1月10日(月・祝) ①9:00~ ②13:30~
【場 所】 栄楽館
【参加料】 800円(保険代、材料費含む)
【対象者】 小学生以上(小学校3年生以上は保護者同伴)
【定員】 各回20名(限定)
【講師】 紅萌書庵 福地 ヒロ 福地 幸
【申込受付】 12月18日(土)午前9時より ☎22-0511にて受付

シーナ SHEENA



スペシャルインストアライブinアピタ伊賀上野店
北欧伝統音楽(アイリッシュ音楽)をベースに新しい形のポップサウンドなどを取り入れたバンドで関西を中心に活動し注目を浴びている。今回は小編成の5名で出演します。是非ご来場下さい!

【日 時】 1月16日(日)
<1st>13:00~ <2nd>15:00~
【場 所】 アピタ伊賀上野店 フードコート特設ステージ
【出演者】 SHEENA(シーナ)
フィドル(ヴァイオリン) 岡本健太郎、ギター 山本 宏史、
サクソ 吉尾 綾子、ドラムス 小林 隆司、
パーカッション 上沼 健二
【料 金】 無料

タッチ・ザ・スタインウェイ ~世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか!~

■ふるさと会館いが 2月6日(日) 10:00~17:00
■青山ホール 2月11日(金・祝) 10:00~17:00
■あやまんさんホール 2月27日(日) 10:00~17:00
【演奏時間】 1枠30分 ※おひとり1枠のみ
申込者本人の利用。音楽教室等の指導としての利用は不可。
【参加費】 500円
青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組1時間で1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)。1枠に3名以上(ただし2台の場合を除く)の使用は不可。
【募集人数】 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
【申込方法】 12月19日(日)午前9時より電話受付
※「あやまんさんホール」は「ふるさと会館いが」で受付
【申込・お問合せ】 ●ふるさと会館いが ☎45-9125(月曜休館日)
●青山ホール ☎52-1109(水曜休館日)

~ ワンコイン ロビーコンサート ~

北見シスターズPresents タップダンスショー 「Yes! That's Tap Dance!!」

映画やミュージカルに登場するタップダンスのシーンは、軽快なステップに思わず身を乗り出すような楽しさにあふれています。ぜひ、生でタップの魅力を感じ、一緒に楽しみましょう。

【日 時】 2月6日(日)
14:30開場 15:00開演
【場 所】 伊賀市文化会館ホワイエ
【出演者】 北見 礼子、北見 京子
【料 金】 一般500円、会員450円
【定員】 150名程度
【一般発売日】 1月9日(日)
【取扱場所】 市内4ホールほかプレイガイド



チャリティーライブ Full・Come・Live vol.33

地域で文化活動している方に発表の場を提供します!

【日 時】 2月26日(土)
18:15開場 18:30開演
【場 所】 ふるさと会館いが 小ホール
【募集枠】 先着4組
【持ち時間】 1組30分(セッティング・撤収含)
【参加料】 無料
※チャリティー開催の為、19歳以上は500円の寄付願います。19歳未満は自由。
【応募方法】 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、ふるさと会館いがにお持ちください(FAXでも可)。
【応募期間】 1月4日(火) 午前9時~1月23日(日) 午後5時必着
その他、詳細についてはお問合せください。
【お問合せ】 ふるさと会館いが(月曜休館日)
☎45-9125/FAX 45-9126

お問合せ: (財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

～美と健康の総合プロデュース～

YOGA de Night! 第5期

- 【日 時】** 毎週水曜日・5回講座
1月12日(水)～2月23日(水)
受付 19:00～ 時間 19:30～20:30
- 【場 所】** 伊賀上野交流研修センター
- 【料 金】** 2,500円
- 【対 象 者】** 一般(高校生以上)
- 【定 員】** 40名
※先着順とし、定員になり次第締切
- 【申込受付】** 12月26日(日)、午前9時より ☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、4名様までとします

**ラテン系フィットネス ズンバ** 第3期・第4期

ズンバは、ラテン系の音楽とダンスを融合させて創作されたダンスフィットネスエクササイズ!! 心肺機能を向上させるとともに多くのカロリーを消費しますので、脂肪を燃焼させる効果が期待できます!

- 【日 時】** 毎週木曜日・5回講座
第3期 1月13日(木)～2月10日(木)
第4期 2月17日(木)～3月17日(木)
受付 18:30～ 時間 19:00～20:00
- 【場 所】** 大山田B&G海洋センター
- 【料 金】** 2,500円
- 【対 象 者】** 一般(中学生以上)
- 【定 員】** 各30名
※先着順とし、定員になり次第締切
- 【申込受付】** 12月26日(日)、午後2時より
☎22-0511にて申込受付

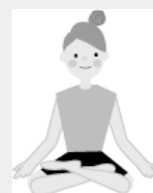
**Let's YOGA in 交研** 第4期

脂肪のつきにくい“やせ体質”を作ります!

- 【日 時】** 毎週月曜日・10回講座
1月17日(月)～3月28日(月)
※3月21日(月)休講
受付 10:30～
時間 11:00～12:00
- 【場 所】** 伊賀上野交流研修センター
- 【料 金】** 5,000円
- 【対 象 者】** 一般(高校生以上)
- 【定 員】** 30名
※先着順とし、定員になり次第締切
- 【申込受付】** 12月27日(月)、午後1時より
☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、3名様までとします

**Let's YOGA in SC** 第5期

- 【日 時】** 毎週金曜日・10回講座
1月21日(金)～3月25日(金)
受付 10:30～
時間 11:00～12:00
- 【場 所】** 上野運動公園スポーツセンター 和室
- 【料 金】** 5,000円
- 【対 象 者】** 一般(高校生以上)
- 【定 員】** 15名
※先着順とし、定員になり次第締切
- 【申込受付】** 12月25日(土)、午前9時より
☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、2名様までとします

**エアロビクス** 第6期・第7期

音楽に合わせて皆で楽しくエクササイズ♪

- 【日 時】** 毎週月曜日・5回講座
第6期 1月17日(月)～2月14日(月)
第7期 2月21日(月)～3月28日(月)
※3月21日(月)休講
受付 19:30～ 時間 20:00～21:00
- 【場 所】** 阿山B&G海洋センター
- 【料 金】** 2,500円
- 【対 象 者】** 一般(高校生以上)
- 【定 員】** 各35名
※先着順とし、定員になり次第締切
- 【申込受付】** 12月26日(日)、午後1時より
☎22-0511にて申込受付

**ボクササイズ** 第7期・第8期

全身引き締め効果的!!

- 【日 時】** 毎週土曜日・5回講座
第7期 1月22日(土)～2月19日(土)
第8期 2月26日(土)～3月26日(土)
受付 19:00～
時間 19:30～20:30
- 【場 所】** 上野運動公園体育館 2階
- 【料 金】** 2,500円
- 【対 象 者】** 一般(高校生以上)
- 【定 員】** 各35名
※先着順とし、定員になり次第締切
- 【申込受付】** 12月25日(土)、午後1時より
☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、3名様までとします

**太極拳教室** 第4期

ーカラダの芯からリラクサー

- 【日 時】** 毎週土曜日・8回講座
1月22日(土)～3月19日(土)
※2月12日(土)休講
受付 9:30～ 時間 10:00～11:30
- 【場 所】** いがまちスポーツセンター
- 【料 金】** 4,000円
- 【対 象 者】** 一般(高校生以上)
- 【定 員】** 18名
※先着順とし、定員になり次第締切
- 【申込受付】** 12月25日(土)、午前9時より
☎45-9125にて申込受付

**ママとベビーの3B体操** 第5期

- 【日 時】** 毎週火曜日・8回講座
2月8日(火)～3月29日(火)
・10:00～10:50「あんよクラス」
・11:00～11:50「ねんねクラス」
- 【場 所】** ゆめドームうえの 軽運動室
- 【定 員】** 各15組 ※先着順とし、定員になり次第締切
- 【料 金】** 4,000円
- 【対 象 者】** 生後3か月から1才6か月までの赤ちゃん
- 【講 師】** 日本3B体操協会 公認インストラクター
- 【申込受付】** 12月22日(水)、午前10時より
☎22-0590にて申込受付



●施設年末年始休業日●

当協会が管理等を行う施設の年末年始のご利用について案内します。

◆現在使用休止となっている施設

次の施設は、現在使用休止となっていますのでご注意ください。

◇青山ホール

- ・施設 多目的ホール
- ・理由 内装改修工事のため
- ・期間 平成23年1月21日(金)まで
- ・その他 多目的ホール以外の施設はご利用いただけます。

◆年末年始に休業となる施設

次の施設は年末年始に休業日がありますのでご注意ください。

◇12月29日(水)～1月3日(月)まで休業日となる施設

- ・伊賀市文化会館
- ・青山ホール
- ・阿山ふるさとの森公園
- ・栄楽館
- ・旧小田小学校本館
- ・上野歴史民俗資料館
- ・阿山ふるさと資料館
- ・ふるさと会館いが
- ・あやま文化センター
- ・伊賀上野交流研修センター
- ・史跡旧崇徳堂
- ・城之越遺跡
- ・入交家住宅
- ・三重県立ゆめドームうえの

◇12月26日(日)～1月4日(火)まで休業日なる施設

- ・伊賀市上野図書館

◆次の施設は年末年始(12月29日(水)～1月3日(月))もご利用できますが、12月20日(月)の午後5時までに受付を済ませてください。また、年末年始の受付は休業となり、平成23年3月の受付は1月4日(火)からとなります。

- ・上野運動公園野球場
- ・上野運動公園スポーツセンター
- ・伊賀上野武道館
- ・ゆめが丘テニスコート
- ・阿山第一運動公園
- ・いがまちスポーツセンター
- ・青山北部公園運動施設
- ・大山田B&G海洋センター
- ・阿山B&G海洋センター
- ・上野運動公園競技場
- ・上野運動公園体育館
- ・上野運動公園テニスコート
- ・上野緑ヶ丘テニスコート
- ・阿山第二運動公園
- ・島ヶ原運動公園
- ・青山グラウンド
- ・大山田せせらぎ運動公園

◆次の施設は冬期芝養生期間を設けていますので、年末年始等は次のように取り扱いますのでご注意ください。

- ◇施設名 ゆめが丘多目的広場
- ◇養生期間 1月1日(出)～4月22日(金)は使用できません。
- ◇使用可能日 12月29日(水)～12月31日(金)
- ◇受付期間 12月20日(月)午後5時まで

◆次の施設は冬期休止となっています。

- ◇施設名 岩倉峽公園キャンプ場
- ◇休止期間 12月16日(水)～3月14日(月)

ホール・ドーム **これから** 情報

伊賀市文化会館

伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
12/18(土) 18:00～	伊勢正三・太田裕美・大野真澄 アコースティックナイト in 伊賀	4,500円	伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
12/19(日) 14:00～	第44回定期演奏会	一般1,000円 高校生以下500円	伊賀シンフォニカアカデミー吹奏楽団 ☎36-2852(川崎)
1/9(日) 11:20～	平成23年成人式	関係者	伊賀市/伊賀市教育委員会 ☎22-9679(生涯学習課)
1/10(月・祝) 10:00～	KUMON伊賀地区合同表彰式	関係者	公文式教室伊賀地区自主研ささゆり ☎059-225-5518(日本公文教育研究会伊賀事務局)
1/15(土) 14:00～	第6回伊賀市教育市民集会	無料	伊賀市の教育を考える会 ☎21-1707
1/28(金) 19:00～	錦織健 テノール・リサイタル	前売3,000円 当日3,500円	伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
1/30(日) 13:30～	伊賀法人会青年部会 創立20周年記念 ～新春講演会～金美鈴氏講演会	無料 (整理券要)	社団法人伊賀法人会 ☎24-5774
2/6(日) 15:00～	ロビーコンサート 北見シスターズPresents タップダンスショー	500円	伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)

ふるさと会館いが

伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
12/17(金) 18:00～	千昌夫特別公演	大ホール	S席4,800円 A席4,300円 B席3,000円	有限会社ジュークネン ☎080-2242-0461(菅原)
12/18(土) 13:00～	福祉映画会	大ホール	無料	伊賀市社会福祉協議会 ☎21-5866(乾・猪岡)
1/5(水) 10:00～	絵本の時間 (絵本の読み聞かせ)	小ホール	無料	いがまち公民館教室 絵本の時間 ☎45-9122(西川)
1/16(日) 13:30～	子育てハッピー講演会「笑って学ぶ子育て のコツ」ケンカ外ラブルは恐くない～	小ホール	無料	伊賀市役所こども家庭課 ☎22-9658
1/23(日) 18:00～	伊賀今村組LIVE	大ホール	1,500円 (当日2,000円)	今村組事務所 ☎0774-73-9609
1/29(土) 9:45～	第8回三重県立あけぼの学園 高等学校成果発表会	大ホール 小ホール	無料	三重県立あけぼの学園高等学校 ☎45-3032(森山)
2/2(水) 10:00～	絵本の時間 (絵本の読み聞かせ)	小ホール	無料	いがまち公民館教室 絵本の時間 ☎45-9122(西川)
2/6(日) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加料500円	伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)

青山ホール

伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
1/23(日) 13:30～	第21回青山推薦コンサート	一般1,000円	伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
2/11(金・祝) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円	伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)

あやま文化センター

伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
1/30(日) 14:00～	伊賀びと奏でコンサート スパーレコンサート～愛をあなたに～	1,000円	伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
2/11(金・祝) 14:00～	SHEENAコンサート ～アイルランドからのバレンタイン～	500円	伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)

ゆめドームうえの

伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
1/4(火) 9:00～	第7回新居SSS杯 少年フットサル大会	第1、第2	新居サッカースポーツ少年団 ☎21-0009(大西)
1/15(土) 9:00～	伊賀市小学生バレーボール 新人大会	第1、第2	伊賀市小学生バレーボール連絡協議会 ☎21-5748(生中)
1/22(土) 9:00～	三重県小学生バレーボール 新人大会伊賀予選	第1、第2	伊賀ジュニアバレーボール育成会 ☎21-5748(生中)
1/30(日) 8:30～	第51回伊賀地区駅伝競走大会	第1、第2	伊賀地区駅伝競走大会実行委員会 ☎22-9680(伊賀市教育委員会スポーツ振興課)

伊賀びと川柳

芭蕉さんと親しく呼んで句をひねる
福沢 義男

伊賀酒で秋の夜長の暇つぶし
★ 飼犬もひと役買って忍び服
井ノ上 揮男

句の披露歌声こども芭蕉祭
高橋 せつ子

病床の母の枕元の組紐鈴
中井 貴志

八十路きて手習いをする忍考文字
馬岡 喜子

次号(74号)の締切は1月15日です。投稿いただいた方の中から★印の方に「第11回読者鑑賞会」のペアチケットをプレゼントします。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで下記までお願いします。

●編集部だより●

約100年ぶりに抜本的な見直しが行われ、平成20年12月から新しい公益法人制度がスタートしました。5年のうちに一般法人が公益法人に移行もしくは解散ということになるため、今後あたりから多くの団体がアクションを起こし始めそうです。

政府広報には民間による公益活動を増進させるためとあります。また、芸術・文化や教育、スポーツなど、これからの時代に求められる分野で、温かみと深みのある社会を作る原動力となることが期待されるとしています。

本協会には、事業、成果、組織体制等々を見つめなおすよい機会にあると思います。

(広報事業委員 菊野善久)

お問い合わせ

(財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512

☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2 Eメール samazama@bunto.com

・伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com>

・ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/~furukan/>